

第1回プロジェクトチーム 参考資料1

地域共生社会の在り方検討会議（第5回）

令和6年10月29日

資料1

（抜粋版）

地域共生社会における、身寄りのない高齢者等が抱える課題等への対応について

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

○ 今後、身寄りのない高齢者等が増えることが見込まれるが、既存の各施策も踏まえた上で、どのような支援が必要と考えられるか。

- ・ 身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題(身元保証、日常生活支援、死後事務の処理等)に関する相談への対応の在り方について、どのように考えるか。例えば、地域の社会資源を組み合わせた包括的支援のマネジメント等を行うなど、相談窓口の在り方についてどのように考えるか。
- ・ 身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応する民間サービスもあるが、十分な資力がないこと等により民間事業者による支援を受けられない方もいる。そうした方々に対する必要な支援の内容やその方法等について、どのように考えるか。
- ・ 身寄りのない高齢者等を地域で支える体制(関係機関とのネットワーク構築等)の在り方についてどのように考えるか。

- ※ 身寄りがあっても家族・親族との関係は様々であり、一律に身寄りがある者を対象外とするものではないことに留意する必要がある。
- ※ 検討に当たっては、地域資源・財源に限られる中、既に地域に様々な相談体制が整備されていること、支援の持続可能性、資力の状況は様々であること、第3回当会議の検討事項として提示した判断能力が不十分な人を地域生活で支えるための方策との類似性、既に他制度において関係機関間のネットワークの構築が促進されていること等も考慮する必要がある。
- ※ 併せて、令和6年度より実施している「身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応するためのモデル事業」の実施状況や、高齢者等終身サポート事業を取り巻く状況の動向等についても留意する必要がある。